



JD LI ▶ LACQUER

日本における漆の利用は縄文時代に始まり、貴重品として貴族階級から愛用されました。漆を塗られた道具を漆器といい、伝統工芸としてその美しさと強靭さを評価され、食器や高級家具などに用いられています。京漆器や輪島塗などが良く知られ、時が経つにつれて増す、独特の風合いが、ラグジュアリーな印象を醸します。



